

YAMAKADO NEWSLETTER

NO.161

2013/04/15

山門水源の森を次の
世代に引き継ぐ会

生物多様性保全は、食害防止に全力！

13/04/04

雪融けが早かった今年は、当然のことながら動植物の活動の時期も早まっています。そんな中、シカ・イノシシによる食害が例年以上に増加しています。付属湿地のミツガシワもいち早く葉芽が喰われ 出し、一段と高



撮影の翌日には喰われてしまったバイカオウレン (13/03/17)



イノシシの掘り起こしで荒れる中央湿原 (13/04/08)



付属湿地も一段と高いネット設置 (13/03/31)

いネットを設置。南部湿原は、イノシシが侵入を始めたのでトタン板を設置中。四季の森のツクバネソウにも新たにネットを設置するなど獣害対策が保全活動の中心となってきました。大変な事態ですが絶滅を回避するためには必須の作業。



四季の森ツクバネソウ分布域にも (13/04/05)

策が保全活動の中心となってきました。大変な事態ですが絶滅を回避するためには必須の作業。

「山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会」

<http://www.digitalsolution.co.jp/nature/yamakado/>

トクワカソウ保護区は順調に拡大



(13/04/08)



ユキツバキ

(13/03/31)



ツバキ観察会

(13/04/07)



ユキバタツバキ

(13/03/31)

保護区に設定したトクワカソウ群落は、食害もなく分布範囲も拡大している。4/7 には冷雨の中ユキツバキとユキバタツバキの観察会を急遽実施しました。この森の1つの特徴でもある両者を比較するためです。今年は花付きが悪いですが 4 月下旬までは、色とりどりのユキバタツバキが観られます。是非ご家族でお出かけ下さい。その折にはミツガシワ・カスミザクラも見ごろになっているはずですよ。

4/13「夏原グラント」の活動助成金贈呈式(50万円)と「淡海のつなぐ・ひらく・みらい賞」受賞式(副賞5万円と朝日新聞1ページの活動紹介)が行われそれぞれ竹端会長・浅井副会長に授与されました。これからの保全活動に一層力を入れなさいという激励と思います。

